

九州電力株式会社川内原子力発電所
原子炉設置変更許可申請（1号及び2号
原子炉施設の変更）の概要

平成9年12月

1. 申請の概要

(1) 申請者

九州電力株式会社 代表取締役社長 鎌田 迪良

(2) 発電所及び所在地

川内原子力発電所
鹿児島県川内市久見崎町

(3) 原子炉の型式及び熱出力

型 式 濃縮ウラン、軽水減速、軽水冷却、加圧水型

熱出力 1号炉

約2,660MW（電気出力 約890MW）

2号炉

約2,660MW（電気出力 約890MW）

(4) 申請年月日

平成9年8月20日

(5) 変更項目

使用済燃料の貯蔵体数の増加を図るため、1号及び2号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力を変更する。

なお、この変更に伴い、核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力の記載を最近の記載形式に合わせる。

2. 工 期

1号炉

着工 平成11年度

竣工 平成12年度

2号炉

着工 平成10年度

竣工 平成11年度

3. 変更の工事に要する資金の額

約 60億円

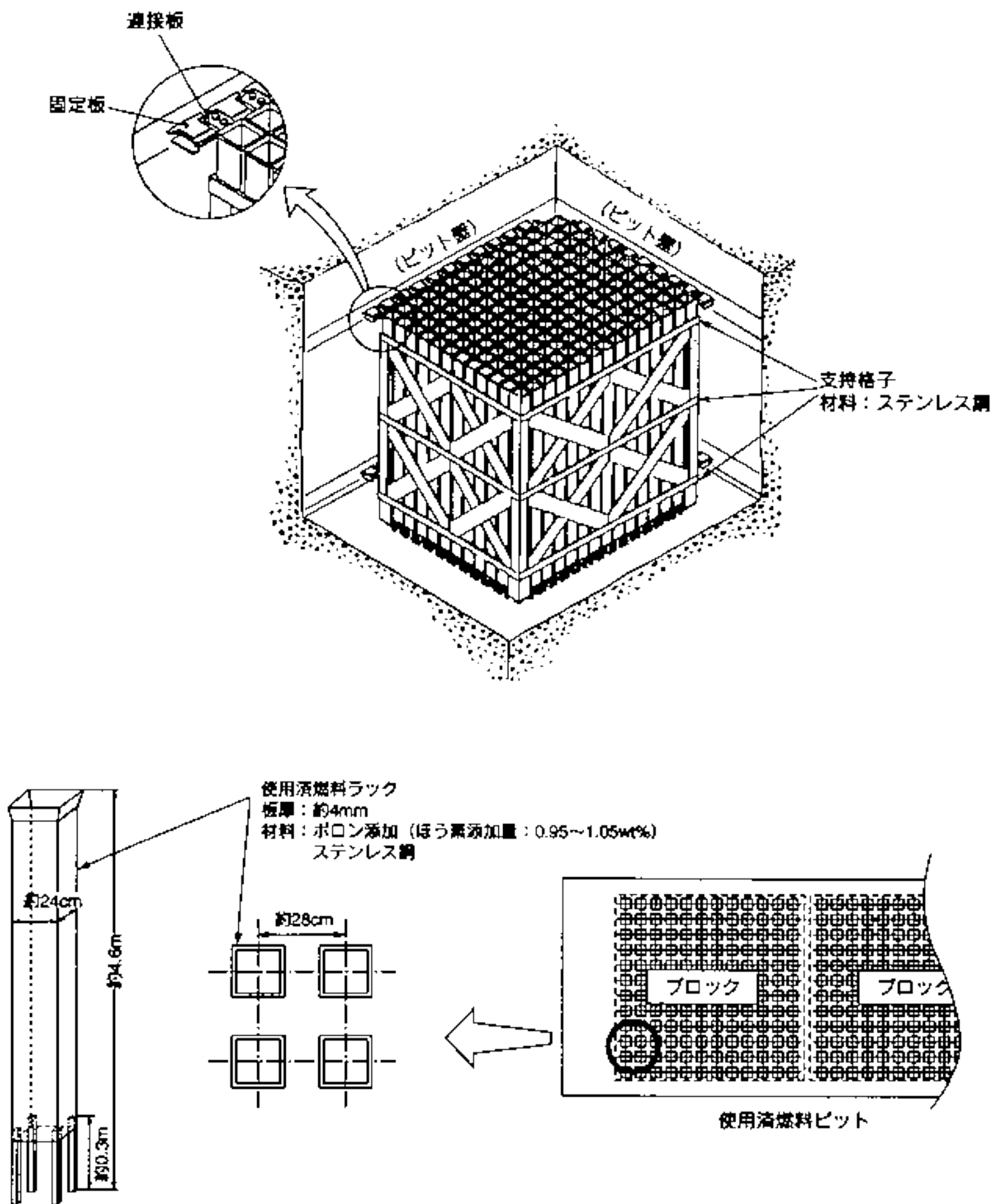
4. 変更の概要

使用済燃料貯蔵体数の増加を図るため、使用済燃料ラックを中性子吸収能力に優れたボロン添加(ほう素添加量:0.95～1.05wt%)ステンレス鋼製ラックに取替え、1号及び2号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力を、以下のとおり変更する。

(第1図及び第2図)

1号炉	変更前	全炉心燃料の約580%相当分 (約 900体分) (Aビット:約280%相当分、Bビット:約300%相当分)
	変更後	全炉心燃料の約850%相当分 (約1,340体分) (Aビット:約550%相当分、Bビット:約300%相当分)
2号炉	変更前	全炉心燃料の約480%相当分 (約 800体分) (Aビット:約240%相当分、Bビット:約240%相当分)
	変更後	全炉心燃料の約660%相当分 (約1,040体分) (Aビット:約240%相当分、Bビット:約420%相当分)

なお、この変更に伴い、核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力の記載を最近の記載形式に合わせる。



第2図 川内原子力発電所1号及び2号炉使用済燃料ピットのラック概要図